

いい映画、ときめく映画、感動の作品を毎月お薦めしている…

TOKYO
CINEMA PREVIEW

東京シネマ・レビュー

父の初七日

Seven Days In Heaven

(配給:太秦)



シネマ夢倶楽部推薦委員によるコメント

後藤昭次(立教大学 名誉教授)

この台湾映画は、葬式をテーマにした喜劇である。葬式というのは、とかく喜劇仕立てに適しているらしい。まず父親の死亡の風景から台湾の葬儀屋の仕事振りなどが展開される。それに葬儀では、泣くにもそれなりの流儀があるが、町会長や県会議員の参列なども、面白可笑しく映しだされる。それでも映画の最後は遺族の娘の悲しみで締めくくるあたりが、この映画の見所なのかも知れない。娘は父にタバコを買ってきた思い出が、もうタバコを買ってくる相手がいないことに、無性に寂しくなって涙を流すのである。

映画「父の初七日」を観て
～大切な人をおくるといふことを考える～

講演:田辺鶴瑛(女流講談師) ※講演は映画上映前

【プロフィール】昭和30年生まれ。19歳のときから4年間、植物人間となった母を介護。結婚後、義母と義父の介護をする。ふたりの死後、田辺一鶴の「講談修羅場道場開講」という新聞記事に心を揺さぶられ、平成2年、講談師田辺一鶴に入門。自身の介護体験を新作・介護講談として発表し、人気を博す。平成15年には真打に昇進。海外公演も果たす。



150組 300名様 試写会ご招待!

日時: 2月10日(金) [開場]18:30 [開映]19:00

会場: ニッショーホール(日本消防会館内) (上映時間 92分)

お申し込み方法: ハガキに、住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記のうえ、下記の宛先まで応募ください。応募多数の場合は抽選となります。なお、当選者の発表は招待状の発送をもって代えさせていただきます。(締切り日: 1月20日(金)消印有効)

※応募者の個人情報は、招待状の発送以外の目的には使用いたしません。往復ハガキでの応募は不可。

宛先: 〒100-8505 (住所不要)

東京新聞販売一部「東京シネマ・レビュー『父の初七日』」係

主催: 東京新聞 / 財団法人 日本ファッション協会 シネマ夢倶楽部